

第14回 うらやす景観通信

平成25年12月17日発行

浦安市役所都市整備部都市計画課

TEL 047-351-1111(内線 1954・1957)

FAX 047-353-4378

メール toshikei@city.urayasu.lg.jp

年の瀬も近づき人の動きもあわただしくなってきました。日本には四季があり、季節ごとの景観があります。もしかすると季節によって人々が求める景観も変わるのかもしれませんがね。さて、今回は「**景観計画**⑨ **景観まちづくり、アーバンリゾート ver.**」というテーマでご紹介します。

アーバンリゾートゾーンはみなさんご存じのとおり、東京ディズニーリゾートを中心としたゾーンであり、調和のある景観を形成しています。

また、東京ディズニーリゾートやホテル・商業施設、総合運動公園に市民をはじめとした国内外から、多くの人を訪れるのも景観特性の一つです。



総合運動公園を象徴する「躍動の門」

そこで景観計画においては「**夢を感じる景観を目指しましょう**」という目標を定めました。それを実現する重要なポイントとして「舞浜駅前通り（仮称）とその沿道」・「海岸とその沿岸」・「舞浜駅周辺」が拠点として設定されています。

さらに踏み込んでみると拠点における景観形成の方針は「魅力ある質の高い道路景観の維持保全に努める」・「リゾート地としての景観の維持と更なる魅力向上に配慮する」などが設定されてお

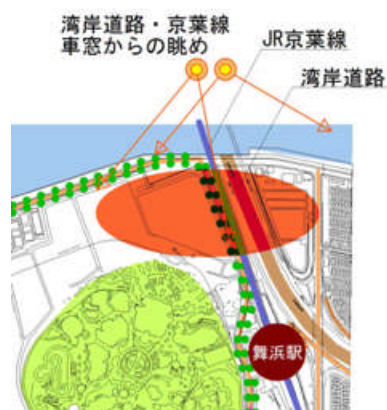
り、元町や中町などの住宅地のうるおいに重点をおき、落ち着きを目指した景観とは違った意図が感じていただけるかと思います。



景観が整いつつある舞浜駅南口

景観法運用指針においても「具体的な地域の景観像を把握する場合には、住宅地や商店街といった用途に応じた特性の違いといった場所性の違い等、多様な観点で想定される」と記載されています。やはり住む場所に求められる景観と、訪れる場所に求められる景観は異なるのかもしれませんがね。

また、アーバンリゾートゾーンは東京方面から浦安にアクセスする際、まず目に飛び込む場所であるため関係機



関などとの連携を図りながらゲートゾーンにふさわしい景観形成に努めていきます。

次回は「**景観まちづくり、新浦安駅周辺 ver.**」をお送りします。